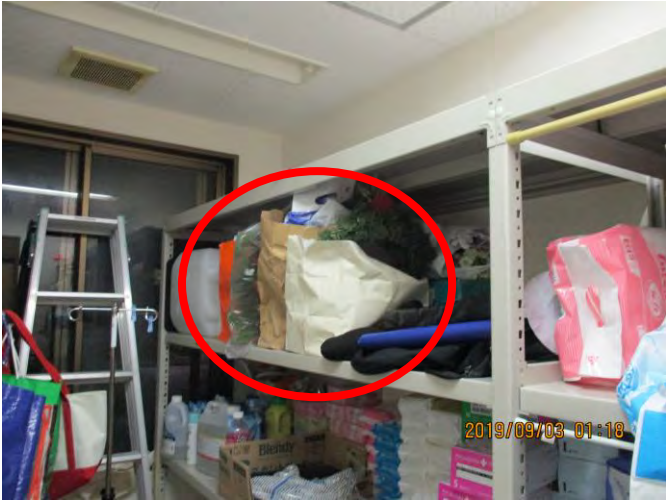
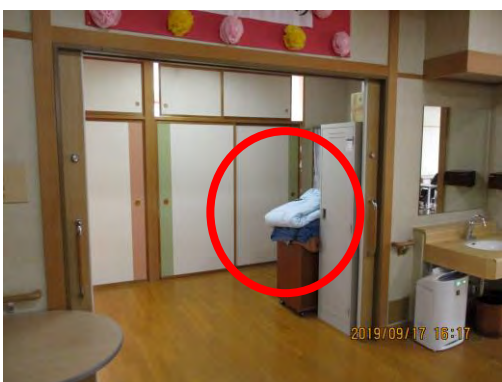
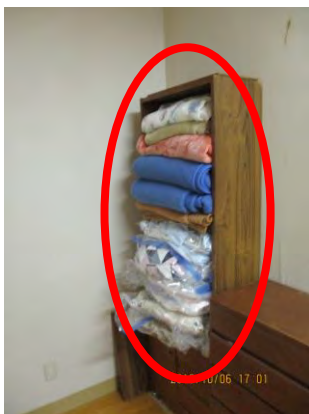


部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西 1 丁目 1 番地 日時：令和元年 9 月 7 日（土） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください クリスマス関係の備品が多く、スペースを活かしきれていない。 ということについて クリスマス関係の備品について古いものもあり今後、使用できる見通しが無いのが現状である。クリスマスツリーも飾り付ける日がイベントの時のみであること、劣化がすすんでいるため、買い替える（コンパクトなもので準備が容易な物に変更したほうがよい）事でよりスペースを有効に活用し、必要な時に必要な物を取りやすく、またはしまいやすいようにする事で倉庫の棚を使いやすいようにしたい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  改善後 	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 クリスマス関係の備品のみで棚の1/6のスペースを使用していた。年間イベントとしてもクリスマスは短い期間の中でこのスペースの使用は非効率であると感じていた。 改善時の工夫、改善後の状況 去年使用したモール、リースは残して、大型のクリスマスツリー、クリスマス関係の小型の飾りを破棄する。スペースができたので今後はタオルケットなどを置く予定。 各種プレーカーの側面スペースにマグネット付きのかごを設置して収納を増やしている。（ダイソーで購入）介材室の足下のスペースに置かれていた排電池 シリンジ類を移動している。実施した事で物を取り出しやすい、または必要な物を探しやすい、出入りしやすくなっている。
---	--	--

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西 1 丁目 1 番地 日時：令和元年 10 月 7 日（月） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください タオルケット、毛布が多く、棚に入りきらず見栄えが悪い ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 タオルケット 毛布が過剰にあり、収納スペースからはみ出していた。 面会に来る家族様から丸見えであり見栄えが悪い。
共有タオルが過剰にあり、収納スペースからはみ出し、利用者様の家族様が面会の時に、目につきやすいラブース入口付近で保管しているため、整理できていないように見える。 一方、災害により停電等で利用者様が寒さから守るもの、冬季に入り、掛物の追加が必要になる利用者様もいるため必要であるため、見栄えも良く保管できるようにしたい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後  	改善時の工夫、改善後の状況 収納関係を見直し、捨てるものは最小限にして、よく使用するもの、しない物を分けた。使用頻度が少ないものは布団圧縮袋を活用し、スペースの確保をした。よく使用するものはそのまま空いたスペース、引き出しに保管する。 毛布などが丸見えの状態はなくなり、すっきりと収納することが出来た。また、破棄する事も検討したが、必要物品として保管したいという、職員の要望を両立することができた。

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西 1 丁目 2 番地 日時：令和元年 9 月 9 日（月） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ユニットキッチン内にある食器棚にサイボウズの連絡にてユニット職員に周知が必要な物を印刷し、貼っていたり、内線表なども乱雑に貼っており見づらい。見栄えも悪い。 ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 食器棚に連絡事項等を貼っていて、見た目も悪く、整理整頓されていない状況だった。
ホワイトボードを購入し、冷蔵庫近くのスペースに掲示用として設置する。内線表など整理して掲示する事で職員が見やすく、情報共有のスペースとしての場を作り、現状に比べ情報を周知しやすくなるのではないかと。 と思うという意見を採用して取り組んだ ※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 ホワイトボードを購入し、ホワイトボードに連絡事項を貼ることになり、見た目も良くスッキリとした印象になったと思います。 しかし、連絡事項の紙を食器棚に貼ってしまうことがある為、きちんとホワイトボード活用できる様に行きたい。

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：北 1 丁目 1 番地 日時：令和元年 9 月 5 日（木） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ・ 職員の働きやすい職場。 ・ BS 法を用いて、個々の職員の意見を反映したい。 ・ 異動してきた職員から、物がどこにあるのかわからなく、探すことに時間を取られている。 ということについて ・ ユニットですぐにでも取り組み、目に見えて分かりやすい事と、ユニット内でも働きやすい環境への取り組みである ・ 異動職員から、ユニット内の物品や環境整備に関しての意見が多く挙がっている ・ 環境を整備し、職員自身が（で）働きやすい環境を構築したい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ・ 書類等が整頓されておらず、異動職員の意見として、物の置き場所がわからない、分かりづらい。 ・ 物品や小物類に関しても同上。 ・ 上記等の保管場所が特定の職員しか把握出来ていない。    改善後 9月：ユニット会議で職員へ周知・共有する。 取り組み内容を共有し、各職員へ役割を持ち、ユニットとしての取り組みである事を伝える。 10月：乱雑に置いてある、小物類や雑紙等を整理できるケースを購入し、整理整頓を行なう。 書類等も、新たにファイルを準備し異動職員も交えて、置き場所を検討し、周知・共有する予定。 11月：改善前と改善後を比較し、整理整頓の習慣付けをしていくよう定期的に声掛けしていく。	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・ 物の置き場所、書類の置き場所が固定されていないため、使ったまま・置きっぱなしが常態化している。 ・ 人事異動に伴い、整理整頓の得意な職員や、ユニットに慣れた職員が変わったことで、勤務職員の組み合わせによっては物探して時間が割かれてしまっている。 改善時の工夫、改善後の状況 現在取り組み中であるが、 ①特定の職員が関わるのではなく、チーム全員で実施し、ブースや部門を担当化して整えること ②ラベリングをするなどで。試用したもの・書類が戻る場所（所定位置の固定）ができるよう工夫している。
--	---	--

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西 2 丁目 1 番地 日時：令和元年 9 月 10 日（火） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	□4S（整理・整頓・清潔・清掃） ■危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して
食事の介助の際、左右 2 人を対応する事や職員の体型（背が大きい、小さい）によっては、職員の介助している椅子を動かしたり、体をひねったり、伸ばしたりと腰に負担がかかる様子がある。 ということについて	改善前 	改善前の状況 既存の椅子を使用しているが食事介助者が多い場合都度体をひねり食事介助をしなければならず、腰痛の直接的な原因とまではいかないが、少なからず負担を感じていた。
回転する、高さ調整できる椅子を購入、使用し、腰痛予防や体への負担、利用者様への食事介助の方法をよくして行きたい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 回転し、高さ調整ができる椅子を購入し準備する。職員の体格差もあり、職員で高さ調節を行い対応した。 向きを変える事や高さが調節できるところは、各職員も少なからず腰の負担も減っていると感じており良かったと話している。 キャスターが付いているため利用者様の事故に繋がらないように置き場所を決めて対応している。

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西2丁目1番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	☐ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和元年9月10日（火）		☐ 危険箇所の改善
■環境 ・ ☐ 方法 ☐ 部署内の方策 ・ ☐ 職員の意識などに関して考えてみてください	改善前	■作業方法の改善
浴室の掃除の際、ホースが届かない、隅までホースが届かずに掃除の効率が悪い。		に関して
ということについて	改善後	改善前の状況
巻き取り方のホースの購入、使用し、作業効率を良くする事でより浴室の清潔維持をして行きたい。		改善時の工夫、改善後の状況
と思うという意見を採用して取り組んだ		隅まで掃除が出来る様に、長めのホースが巻き取れるものを購入し準備する。
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください		入浴後掃除した職員から話を聞くと隅まで掃除ができ作業の効率が良くなったと話している。今後としても浴室の清潔を保つために使用していきたい。

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西2丁目2番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） ■危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して
日時：令和元年9月9日（月）		
■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	改善前    	改善前の状況 パソコンの置いている位置がユニットのカウンターであり、配線に巻き込みや絡まりがある。また利用者の目の届く所であり、接続コードを抜いたり、機器を移動しコードの破損に繋がっている。また、整理棚も整理が出来ていなく乱雑であり見栄えが悪い状況である。
・環境整備として。 パソコンの位置がずれていたり、書類が整理されておらず、定位置ではないことが多い。 パソコンの位置や配線などをきれいにし他利用者が配線を抜いたり、運んだりしないように環境を整えたい。 ということについて 職員が整理しやすいような環境を作る事で所定の位置に所定の物があるようにする。つまりは必要な時に必要な物が使え、作業の効率化につながる。またパソコンの位置や配線などをきれいにし利用者様が配線を抜いたり、運んだりしないようにする事で、利用者様がけがをしてしまうなどのリスクや、機器の破損などのリスクも減少するのではないかと と思うという意見を採用して取り組んだ		改善後  

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：東 2 丁目 1 番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和元年 9 月 15 日（日）		☐ 危険箇所の改善
■環境 ・ ■方法 ■部署内の方策 ・ ■職員の意識などに関して考えてみてください	<u>改善前</u>	■作業方法の改善
・働きやすい環境 ということについて	・週末や祝日はパート職員が不在な為、2 名体制となっている。 その為休憩が取りにくい。 ・不定期ではあるが業務の見直しを行っているが、ご利用者の 状態変化が大きく、どの部分(支援)の見直しをかけると良いか 判断できにくい状態である。 ・車椅子等の物品がご利用者に合わない物が多くなってきており、 物品の選定（やりくり）にも限界がきている。 ・異動や新規の配属職員に、ゆとりをもっての人材育成ができない(ゆっくり指導する時間がない)。	に関して
・週末や祝日の 3 名体制。(2 名体制だと休憩が 取りにくい) ・業務の見直し ・職員の適正な人員確保。 ・ゆとりをもっての人材育成。 ・職員やご利用者お互いが使いやすい物品の見 直し。 上記の見直しが必要と思うという意見を採用 して取り組んだ	<u>改善後</u>	<u>改善前の状況</u>
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の	・ご利用者の退居や新規入居があり、現状での対応変化が まだ見極められていない状況である。新規のご利用者の入居後 2 週間を目途に、業務の見直しを再考し 11 月より初旬より 実施予定である。	・浴室の側面や床にカビが染みついて いる。 ・ご利用されている車椅子の汚れの こびりつきがある。 ・空調（換気扇）の埃が見られる。 ・冷蔵庫の整理が不徹底。
改善について抽出してください		<u>改善時の工夫、改善後の状況</u>
		・随時冷蔵庫内の整理を実施している。 (お預かりの物が多い為) ・洗車ブラシを購入し、汚れが目立つ 車椅子を随時洗車している。 ・定期ではないが、入浴介助後カビ取 り剤をカビの見られる部分に使用 している。

- 9 -

東2-2早番(7:30~16:30) 改善前

7:30~8:30

- ・朝食の準備
- ・食事介助
- ・服薬介助
- ・口腔ケア
- ・トイレ誘導・パット交換

10:00

- ・水分補給、コーヒーを入れる
- ・居室の方の水分補給

11:00

- ・リネン交換
- ・臥床されている方の起床介助

11:30

- ・午前の記録パソコン入力

12:00

- ・昼食介助。
- ・服薬介助。
- ・居室で休まれる方の臥床介助

13:30

~14:30

- ・遅番者がトイレ誘導・パット交換
- ・早番者がフロアの見守りとナースコール対応

14:45

16:00

- ・おやつ・水分補給準備と介助
- ・ゴミだし・洗濯物を持って行く。
- ・1階の洗濯場から洗濯済みの衣類を持ち帰る。

16:30

~17:30

- ・遅番休憩の為、フロア見守り

17:30

退勤

【改善前の職員の思い】

・(日)は遅番との2名勤務の為、昼食食事介助や午後の遅番者排泄介助の間のフロア見守りを行い、その後すぐに15時のおやつ・水分補給の時間が来て、休憩時間が取れない

部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：南2丁目1番地（西） 日時：令和元年8月21日（水） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください 綺麗な環境、整理整頓された環境で気持ちよく働きたい。 ということについて ・ 整理整頓をすると良い。 ・ 整理整頓しやすい環境をつくる（整理棚、収納グッズの購入等）と良い。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ユニット内の収納棚の中など、必要、不必要の分別がなされないまま物がしまえばなしになってしまっている。収納棚内の整理整頓を行う事で、使用する際に見つけやすい、取り出しやすい事に加え、不要な物を整理することで収納力のアップを図り、また併せて整理用品の購入を進める事で、整理整頓に繋げる。 ①、②号室前の整理棚内、棚周辺の整理 ③、⑥ブース洗面所脇の棚内の整理 台所内の食器棚内、棚周辺の整理 （※別添の写真を参照） 日常の業務内での片付けはなかなか難しい為、勤務表作成段階で10月の前半に片付けの日を設定し職員を厚めに配置、その日に重点的に実施できる様にする。 改善後 10月前半に実施日を設定する予定だったが、勤務表作成時に設定ができず、現時点で実施には至らなかった。10月より配属になった職員の業務習得状況を確認し、10月末を目途に実施日を再設定し、実施できる様にしたい。 →10月22日（火）に、職員1名フリー時間を設けることが出来た為、その時間を活用し課題として挙げていた場所すべての整理を実施することができた（※別添の写真を参照）	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・ 必要なものが必要なときに取り出せない、不必要と感じているものも、物全体の必要度が見えない状態なので、整理し要・不要から確認する必要があった。 改善時の工夫、改善後の状況 ・ 流し台の下引き出し等については、物品管理がしやすいように要、不要の分別を行って整理した。 ・ 勤務表の作成時に人手を厚くできるよう前もって調整を図った（実際は難しく、稼働していく中で調整できた日に実施）。 ・ 整理整頓で不要なものを処分し、必要なものがわかりやすく保管するスペースが確保できた。
---	---	---

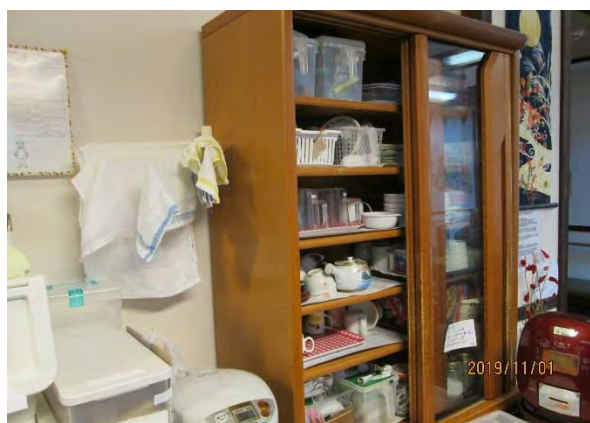
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

【改善前】

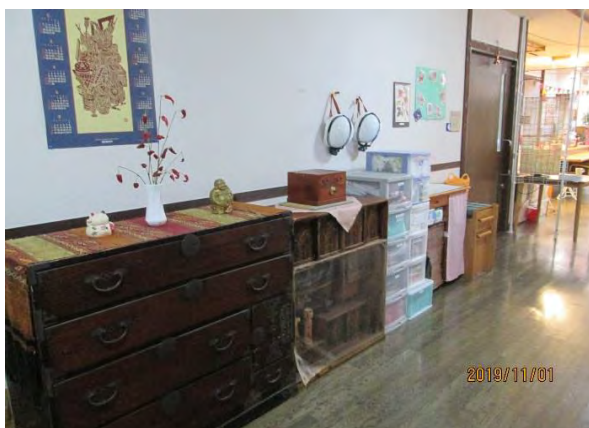


【改善後】

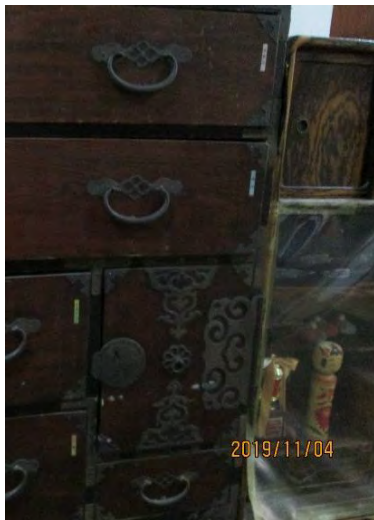
ユニットキッチン内



廊下の和箆筒内



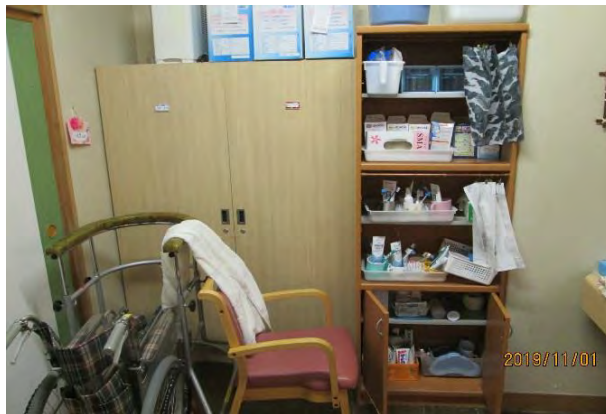
和筆筒のラベリング



ケースのラベリング



③ブース洗面台横の棚内



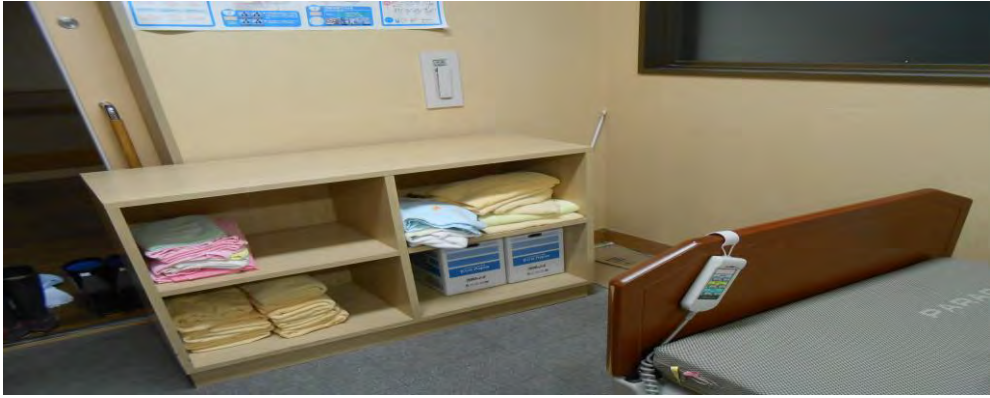
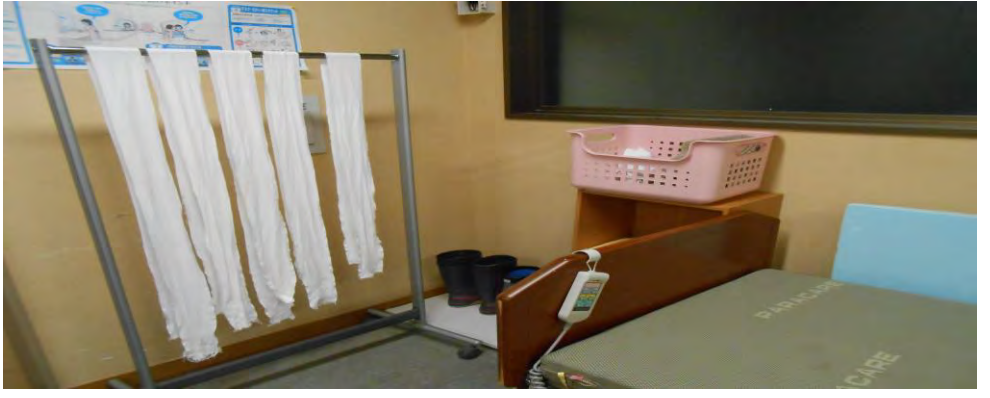
⑥ブース洗面台横の棚内とラベリング



部署：住居支援部 住居支援課 住居支援係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：南2丁目2番地（東） 日時：令和元年9月27日（金） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください 浴室内の環境整備 ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 現在浴室は使用しておらず、物品庫になっている状況下において ・整理整頓していないため使いにくかった。 ・車椅子が乱雑で必要な時に取りにくかった。
・すぐに改善できる。 ・整理整頓していないため使いにくい。 ・車椅子が乱雑で必要な時に取りにくい。 ・今後の環境整備の出発点となる。 と思うという意見を採用して取り組んだ ※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 ・車椅子の整理整頓を行い、必要なものが取りやすいように配慮した。 ・写真右側に関しても棚を購入し、整理整頓がしやすく、かつ使いやすい環境にしていきたい。 ・現状維持を意識して取り組むが、水回りという環境のため、防水・防サビ・防カビが出来る保護などを検討していく。

部署：住居・相談支援部 住居・相談支援課 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：（住居支援係）北2丁目 日時：令和元年9月27日（金） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください *洗濯物を干すスペースの移動、廊下の環境整備。 *廊下に洗濯物の以外の物も置いてあり、物置状態になっている。	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 *廊下の収納ケースの上に洗濯物や、飾りものなど乱雑に置いてあり、物置状態で見た目も悪い状況でした。 	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） ■危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 *収納ケースの上が乱雑に、山のように物が置いてある状況。 *洗濯物もたたんであるが、居室にもどさないで、山積に置いてある状況。
ということについて *廊下のいらない物を処分し整理整頓する。 *洗濯物を干すスペースは、廊下など利用者の目に触れない場所、居室から離れた場所で、脱衣場に移す。 という意見を採用して取り組んだ	改善後 *シンプルなレイアウトにしたことで、物品の置き場所が明確化した。またコースの景観も清潔感のあるものとなった。 	改善時の工夫、改善後の状況 業務を行ないながら必要な物品を取り出すことが上手く出来ない状況であったことから、新たな配置では一目見て何が・どこにあるかが分かるよう、シンプルな配置を心掛けた。 また棚を撤去したことで、棚の下が腐食していたことが明らかになった。

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居・相談支援部 住居・相談支援課 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：施設相談支援係 日時：令和元年9月30日（月） ■環境 • □方法 □部署内の方策 • □職員の意識などに関して考えてみてください • 職場環境の整理整頓 ということについて • 個人情報管理しているキャビネットの鍵がかかりづらい状況でテープ補強しながら使用している。開け閉めも力をいれなければ開かない状況で大変である。他部署の職員からも話があり、使用する際大変との事。 という意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  改善後 (実施中)	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 • キャビネットを開閉する取手の部分が、かなり開閉しづらく、力を入れなければ、開閉することが困難であった。また、鍵もかなりかけづらい状況であった。 改善時の工夫、改善後の状況
---	--	--

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

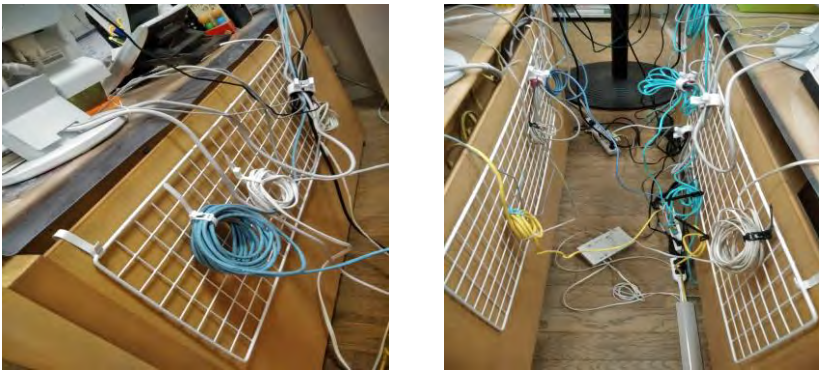
- 18 -

- 19 -

部署：住居・相談支援部 住居・相談支援課 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：栄養・口腔支援係（管理栄養士）	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和元年9月17日（火）		□ 危険箇所の改善
■ 環境 ・ □ 方法 □ 部署内の方策 ・	改善前 	□ 作業方法の改善
□ 職員の意識などに関して考えてみてください		に関して
栄養室の汚れや書類が整理されていない	改善後 	改善前の状況
ということについて		栄養室内（事務作業スペース）に物が散らかり整理整頓がされていない状況が目立っていた。
きれいな環境で仕事をする		改善時の工夫、改善後の状況
業務の効率化へ繋げる		不要なものを整理整頓し、作業しやすい環境整備に努めた。今後も整理整頓を継続し業務の効率化へ繋げていきたい。
という意見を採用して取り組んだ		
※ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の		改善について抽出してください

部署：住居・相談支援部 住居・相談支援課 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：居宅介護支援係	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和元年 9 月 24 日（火）		■ 危険箇所の改善
■ 環境 ・ □ 方法 □ 部署内の方策 ・ □ 職員の意識などに関して考えてみてください	□ 作業方法の改善	
配線コードの安全な設置	改善前	に関して
ということについて	配線コードがむき出しになっており、転びやすく、見た目も悪い状況にある。また、コードをひっかけて電源が切れてしまい、断線する可能性もある。	改善前の状況
		・ 配線コードをどのように設置し、固定するかを検討し、対応する。
コピー機等を多くの職員が利用する際に、コードに引っ掛かり転ぶ危険性があることや、来客も多く、見た目が悪いため、改善する必要性がある	改善後	改善時の工夫、改善後の状況
という意見を採用して取り組んだ		・ 床に配線が垂れさがらないようにすることで、掃除を簡単にできるようになり、見た目も改善できた。 ・ なるべくテーブル毎に配線をまとめることで、配線同士の干渉を防ぎ、どれが何の配線なのか分かり易くなった。
※ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください		

部署：地域支援部 ショートステイ担当課 ショートステイ係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

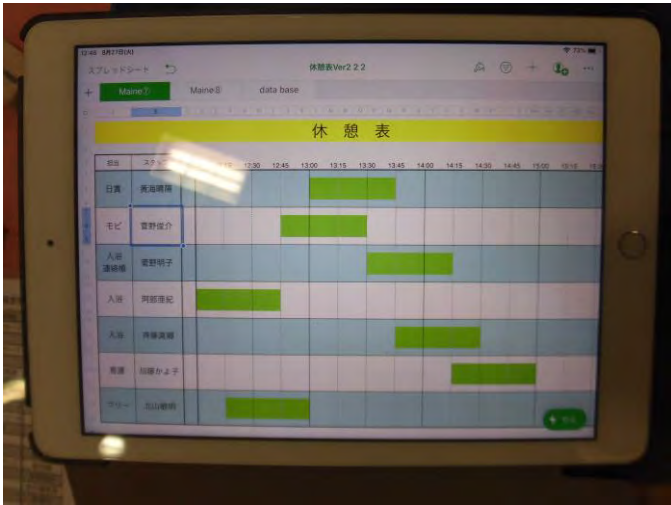
部署：東 1 丁目 1 番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等		☒ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和元年 10 月 16 日（水）	改善前		☐ 危険箇所の改善
☒ 環境 ☐ 方法 ☐ 部署内の方策 ☐ 職員の意識などに関して考えてみてください	 		☐ 作業方法の改善
介材室の整理整頓 ということについて	改善後		に関して
- どこになにがあるか分かるようにする。 - 整理整頓し使いやすい環境にする。 と思うという意見を採用して取り組んだ	 		改善前の状況
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください			改善時の工夫、改善後の状況
			- 不要なもの、使用しない物を破棄した。 - 床に直置きにならないようにした。 - 在庫量を確認した。 - 介材室以外の場所に収納できるものは移動した。 - 物の場所をユニット職員で確認し変更していく予定。

部署：地域支援部 ショートステイ担当課 ショートステイ係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：東1丁目2番地 日時：令和元年10月13日（日） ■環境 ・ □方法 ■部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください 整理整頓について テレビラックの中・上に本やパズル、その他小物で取り出しにくい状況になっており、職員、ご利用者も使用したい物をスムーズに取り出せない環境 ということについて テレビラックの中・上を整理整頓し職員、ご利用者が物をスムーズに取り出せるようにしたい。どこに何があるか分かるようにして、職員、ご利用者が気持ちよく使えるようにしたい と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  改善後 	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 本棚に本やパズル、塗り絵道具類が乱雑に収納されていた。 テレビラックの中も行事で使用する文房具類と工具類が混在していた。 どこに何があるか分からない状況だった。 改善時の工夫、改善後の状況 本やパズル類、塗り絵道具一式、工具類を分別した。 本の大きさ順に整理整頓行った。 改善後はご利用者も本を選びやすくなった。また、塗り絵やパズルの置く場所を分別したことで取り出しやすくなった。
--	--	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部 デイサービス担当課 デイサービス係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

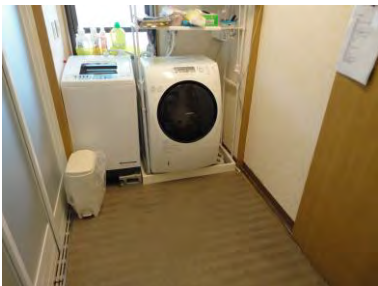
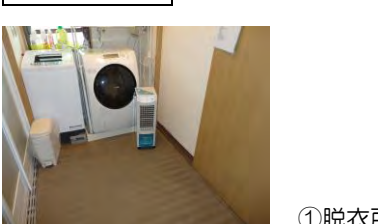
部署：デイサービス 日時：令和元年8月15日（木） ☐環境 ☐方法 ☒部署内の方策 ☐職員の意識などに関して考えてみてください ・ 職員の休憩をしっかりとる ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前	☐4S（整理・整頓・清潔・清掃） ☐危険箇所の改善 ☒業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・ これまでも、同様に職員の休憩取得に向け、ユニットにおいて取り組みをしてきた。実施後しばらくの間は、休憩取得を行うことができていたが、いつの間にか休憩を取らない状態に戻ってしまっていた。 ・ 「休憩が取れない」というわけではなく、「休憩を取らない」に近い状態であった。誰がいつ、どの時間に休憩を取るのかという明確なスケジュール分けがないこともその要因の一つであった。
・ 現状、休憩時間を取ることができていない為しっかりと休憩を取って、午後の仕事に向け準備をしたい。 ・ 全員が休憩を取る習慣をつけたい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 ・ 各職種や役割に応じた、休憩タイムテーブルを作成し、タブレット上にて管理できるようにした。普段から、介護記録などでタブレットを使用していることから、負担なく導入できた。 ・ 各職員が、休憩取得に向け意識が高まり、他職員の休憩時間になると、その職員に休憩を取るように声掛けを行うなど、チーム全体で職員同士が自ら声掛けを行うようになった。そうしたことから、休憩を取りやすいユニット環境へと近づいた。
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください		

部署：地域支援部 デイサービス担当課 デイサービス係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：国見ヶ丘3丁目デイサービス 日時：令和元年8月14日（水） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ①フロア内の洗面台周りの清潔と整理整頓（歯ブラシ・コップ類などの物品） ②外のごみ置き場の補強（金網で頑丈に作ってあるが、夜間帯のうちに動物に荒らされるため、ゴミ収集が来る週3回しかゴミ出しができていない。） ということについて ①歯ブラシが他の方と隣同士に棚に並べてあり衛生面から改善が必要→個々の歯ブラシにキャップをつける。物品が整頓できる棚などの場所を作る。 ②動物に荒らされず毎日ゴミ出しができるようにする。→金網の補強を依頼する（総務課）。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ①  ②  改善後 ①  	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ※①写真より⇒ご利用者の歯ブラシをコップに立てた状態で棚に置いており、ブラシ部分が接触の可能性が考えられる点から衛生面の改善を要した。 ②収集日前日からゴミ袋を捨てていると動物に荒らされゴミが散らかる為に不衛生な状況だった。 改善時の工夫、改善後の状況 ①について・・・個々の歯ブラシにキャップをつけるようにした（9月～）。 物品類は現在ある棚をそのまま活用するようにし整理整頓に努めるようにし維持できている。 ②ゴミ出し場の金網設置については総務職員へ依頼済み。ゴミの出し方はこれまでと変わらず、収集日に出すようにしている。（R1・10・11現在）
--	---	--

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部 グループホーム担当課 グループホーム係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：東乃家	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等		■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和元年 8 月 30 日（金）	改善前		■ 危険箇所の改善
■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	①		□作業方法の改善
①夏季の入浴介助時に脱衣所の室温が高くなり、窓を開けて換気をしていても外気温が高く、介助者の発汗量が増え、熱中症の危険も感じる。 ②休憩時間にリラックスして気分転換ができるように休憩室の環境を心地良く過ごせる空間に整える。 ということについて		② 	に関して
①脱衣所に冷風器を設置して室温を調節する。 ②休憩室内の備品を整理してスペースを確保し、休憩中リラックスした体勢で過ごせるようにマットか座椅子、ソファ等を購入する。心地よく安心して休めるよう清潔の保持。 と思うという意見を採用して取り組んだ	空調設備が無い脱衣所 9 月 ・冷風器を設置する。 10 月 ・室温を快適に保つ事ができているか検証する。 11 月 ・定期的に冷風器が必要なければ撤去する。 12 月 ・来年の夏季に向けて改善点があれば検討する。	備品が多く休憩スペースが狭い ・備品を整理してスペースの確保。 ・マットか座椅子等を購入する。 ・休憩室の清潔保持 ・休憩室で快適に過ごすことができるか検証する。 ・快適な空間を維持する。	改善前の状況
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	改善後 10 月		①入浴時の熱と湿気により脱衣所の不快指数が高くなる。
		①脱衣所に冷風器を置くことで室温上昇や湿度による熱こもり押さえることが出来た。	②休憩室に備品や洗濯物等を乱雑に置いていることがあり清潔感が無い。
	②休憩室内の整理整頓、こまめに掃除し清潔保持を心掛けた。		改善時の工夫、改善後の状況
			①利用者様に冷風が直接当たらないよう風向きに配慮した。
			②全ての仕事着に個人の名前を記入することで、洗濯物をタンスに片付けやすくなった。

部署：地域支援部 グループホーム担当課 グループホーム係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：中乃家 日時：令和元年 8 月 29 日（木） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ ■職員の意識などに関して考えてみてください ①休憩はとれているが、休憩室が乱雑になっている。 ②デスク周りが、使いづらい。 ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ①休憩はとれているが休憩室に洗濯した職員の衣類がそのまま置いてある。また、乱雑に置かれている。 ⇒出勤したら、自分の衣類をボックスへ入れる。また、みんなで休憩室を使うということを意識して、整理整頓をしていく。 ②デスク周りの整理整頓がなっていない。 ⇒退勤する際に、次の人が使いやすいように整理整頓をして、退勤してみる。また、使ったものは、もとに戻す。 ①②を同時に、9 月から 1 ヶ月行なっていき、毎月のユニット会議で振り返りを行ない、修正等をしていく。	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ①②とも職員ひとり 1 人が意識して、整理整頓をしていない現状。
①休憩を充実しましょう。 ②デスク周りを整理整頓し、気持ちよく働きたい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 ①9 月のユニット会議でだいぶ衣類の整理は出来ているが、物は乱雑においてあると意見がでた。 ⇒10 月中に、休憩室に置いてある物を整理して使いやすい休憩室にしていくようにしていく。 ②デスク周りを整理整頓していく。 ⇒自分たちが使いやすいようにはなってきたが、他人任せにしないようにしていく。	改善時の工夫、改善後の状況 ①②職員同士が声を掛け合って、気持ちよく働こうという意識が少しでてきたように思える。ただ、誰もいわなくなると前のような現状になるので、中堅職員が中心となって声をかけてもらっている。

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

【改善前】



【取り組み経過】



部署：地域支援部 グループホーム担当課 グループホーム係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：西乃家 日時：令和元年 8 月 28 日（水） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ ■職員の意識などに関して考えてみてください ・ 職員がゆっくり休める時間や場所の確保が難しい状況と感じる。 ・ 気持ちの切り替え、リフレッシュの時間を持つことで精神衛生を保ちたい。 ということについて ・ 使用頻度の低いソファや、物を処分してはどうか。 ・ 休憩場所を新たに作ってはどうか。 ・ 職員同士が休憩を取れるよう、お互いに声をかけ合う と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 現状、ご利用者の対応に追われ、職員が休憩を取れない。また休憩するにあたっての場所もなく、気持ちを切り替えて仕事を行なうことが出来ずにいる。 改善後 ・ ユニット会議などで職員に話し、休憩場所確保のためにフロアの整頓を行った。 ・ お互いに休憩を取れるよう声掛けや意識づけを行い、職員が休める時間を設けることに徐々に繋がっている。	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・ ユニット全体に物が多く、フロアや更衣室等の一部にまとめて置いている状況。見た目が良くない。 ・ 他職員への負担等も気になり、休憩をとることや席を外すことに意識が向かず、互いに休憩をとることへの声掛けもなくなっている。 改善時の工夫、改善後の状況 ・ 職員自身が考え、休憩場所を確保した。休憩を取れる職員もいる一方で、十分に休憩を取れていない職員もいる等ばらつきがある為休憩について再度声かけを行い、偏りが出ないように意識付けをしていく必要がある。
---	--	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

【改善後】



整頓後。休憩室は難しいため、フロア内に場所を確保。

部署：地域支援部 グループホーム担当課 グループホーム係 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：国見ヶ丘 3 丁目グループホーム 日時：令和元年 10 月 16 日（水） □環境 □方法 □部署内の方策 □職員の意識などに関して考えてみてください - グループホーム内のワーカー室（メールボックス裏の物置場）の整理整頓 - ロッカー室内に休憩場所を設置したい - パソコンの画面の整理 ということについて - ワーカー室のメールボックス裏の物品がおりてある場所が整理されていると、全体的に者の置き場所がスッキリとして使いやすい。 - 現在、休憩室がないため、ロッカー室を整理して、一人になれるスペースを作れないか。と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 - 現在、ワーカー室の押入れの中に、以前家族会で使ったものや、レクリエーション用の物品などを置いているが、乱雑に置かれている状況であり、置かれている物品に対して、職員が把握していないものも多くあるため、物品の整理整頓、破棄を行い、職員が把握しやすいように、また、収納スペースの確保を行う。 - 休憩室がないため、ロッカー室、倉庫内の整理整頓と移動できる物品はワーカー室の押入れに移動、掃除用具の置き場所を変更し、職員が休憩中座り、一人になれる空間を作りたい。 改善後 - ワーカー室の押し入れ部分を整理する事が出来た。不要な物は捨てて、整理したため、どこに何があるか把握しやすくなった。 - 掃除用具がワーカーのロッカールーム内にある。掃除用具は別の場所に移し、職員が座るスペースを作り、休憩できるように計画中。	□4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 - ワーカー室の押入れの物は職員が把握できていない。 - 一人になれる休憩室がない。 改善時の工夫、改善後の状況 - 置き場所の把握がしやすくなった。 - 不用品を廃棄することで、必要な物の把握ができ、整理整頓がしやすくなった。
--	--	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

【改善前】
(検討中)



【改善前】
(検討中)



【改善後】
ワーカー室押し入れ



部署：地域支援部 地域連携推進グループ 令和元年度夏期・秋期安全推進活動

部署：地域連携推進グループ 日時：令和元年9月17日（火） ☒環境 ・ ☐方法 ☐部署内の方策 ・ ☐職員の意識などに関して考えてみてください ①せんだんの里共有部分での汚れやごみ ②定期的な換気 ③挨拶 ④ファイルの整理 ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 	☒4S（整理・整頓・清潔・清掃） ☐危険箇所の改善 ☐作業方法の改善 に関して 改善後の状況 ①②廊下に汚れ、ごみが落ちていることがあり、そのままになっていることがあった。 ③挨拶をしない職員、学生が多い ④ファイルの整理、2年前文書から保管しておりファイルが多くなっていた。
①②せんだんの里共有部分での汚れやごみを目にする事があったり、臭いがこもっていると 感じる事があり共有スペースとしての環境整備が必要と感じる。 ③職場環境としてお互いに気持ち良く仕事をしたい。 ④資料を整理する事で作業効率あげる。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 ①②共有部分での汚れ、ごみを率先して掃除するようにした。 換気については、暑い日、湿気が多い日など定期的な換気ができなかった。 空気が汚れている（臭いなど）ある場合は随時換気した。 ③意識をして挨拶をしようと決め、地域連携推進グループ職員で実行した。 ④地域連携推進グループ内にあるファイルを整理し、過去の文書等は、倉庫に保管し、必要と思うファイルの作成を行った。倉庫ファイル保管場所を整

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

		<u>理し、26 年度から 30 年度をわかりやすくファイリングを行った。地域連携推進グループ内ファイルについては、テプラを張り、一目でどんな記録が入っているのか整理した。</u> <u>地域連携推進グループ職員が意識し、ごみが落ちていれば拾う、挨拶は、聞こえるようになど意識し、率先して行動している。</u>
--	--	---